



地域安全ニュース

令和5年8月号

みんなでつくろう安全安心のまち

～犯罪・交通事故のない社会の実現を～

令和5年6月末の県内特殊詐欺『被害』の暫定

118件・約3億890万円

県警から、令和5年上半期（6月末現在）の特殊詐欺被害の暫定値が発表されました。前年と比較すると、件数は21件増加し、被害額も約8,100万円増加しています。1件当たりの被害額は、平均すると約260万円と高額になっており、様々な手口で被害が発生しています。

犯罪の被害に遭わないよう、日頃から情報収集に努め、対策を講じておきましょう。

令和5年6月末の香芝市被害状況(県内被害20市町村)

被害件数：11件(20番中4番目に多い) 被害額：2,380万円(20番中3番目に多い)

被害の多い手口

被害が多かったのは「架空料金請求詐欺」「預貯金詐欺」「還付金詐欺」でした。

手口を知っていることが被害防止につながります。



架空料金請求詐欺(38%)

「入居権が当選した」などと言った後、「名義貸しは犯罪。解決金が必要。」等と告げて、送金させたり、実在する企業を名乗り、「未納料金がある」等と言って指定した口座へお金を振り込ませる手口

預貯金詐欺(36%)

市役所職員を名乗り「払い戻しのお金がある」、「どこの口座を使っていますか」等と電話があり、その後、金融機関職員を名乗り、「古いカードを交換する」等と言ってキャッシュカードをだまし取ったり、すり替えたりする手口

還付金詐欺(16%)

市役所職員等を名乗り「介護保険の払戻しがある」等と言ってATMへ誘導し、手続きのためと操作方法を偽ってお金を振り込ませる手口

オレオレ詐欺(6%)・金融商品詐欺(3%)・キャッシュカード詐欺盗(1%)



上記3つの詐欺以外で多い香芝での手口

サポート詐欺(警告画面は突然に…)

パソコンを使用中に突然警告音が鳴り『パソコンがウイルスに感染した。サポートセンターに電話するように』と警告画面が表示され、セキュリティサポート契約等の名目で、コンビニで電子マネーを購入させ、そのカード番号を聞き出して金銭をだまし取る手口

被害の特徴

○被害者の約90%が65歳以上の高齢者

○被害者のうち約70%は女性

○被害のうち約70%は1本の固定電話への着信がきっかけ



被害者の約9割が65歳以上の方でしたが、高齢だからだまされやすいというわけではなく、犯人に狙われるリスクが高いことを示しています。

犯人は、皆さんがコツコツ蓄えた財産を狙ってます。「うちは大丈夫」という考えは禁物。一度だまされると定期預金や保険を解約したりしてお金を用意する方もいますので、だまされないための予防対策が大切です。

防犯電話で被害予防を！



被害を防ぐポイント

☆防犯電話の便利な機能

- 自動録音
- 迷惑電話ブロックサービス
- 非通知着信拒否や未登録番号への注意喚起
- 音声アナウンスによる注意喚起

- ・「自分は大丈夫」と思い込まず、手口を知り、対処方法を身に着ける！
- ・一人で考えず、誰かに相談する！
- ・防犯電話で対策する！

香芝市防犯電話購入補助金
申請受付中！



STOP！特殊詐欺



「あやしいな？」と思ったらご相談ください

消費者ホットライン
(局番なしの3桁) 188

警察相談専用電話
#9110

香芝市役所

香芝警察署

身近な家族・友人

香芝市生活安全推進協議会